

利根川について

五年 円崎 ちひろ

利根川の始まりは、群馬県の山おくにある大水上山からの一滴です。この一滴がやがて、利根川にたどり着き片品川、吾妻川などの支流をあつめて、大きな川の流れになります。

利根川の名前の由来は、昔からついていて、万葉集という和歌の本ができたころには、利根川という名前がついていた。一万、利根川

の別名でもある「坂東太郎」については、あしがらとうげとうすいとうげを境として、それより東の諸国をさうしようとする「坂東」をながれる日本最大の河川であることからなづけられた。

利根川は、大水上山を水源として、関東地方を北から東へ流れ、太平洋に注ぐ河川。河川法に基づく政令により昭和四十年に指定された一級水系である利根川水系の本流である一級河川。河川のきぼとして、日本最大級で、

東京都を始めとする首都けんの水源として、日本国内の経済活動上で、重要な役割を果たしている日本を代表とする河川の一つである。昭和三十年には深刻な日照りが続いたため東京オリンピック直前の昭和三十九年には水不足がピークに。真夏の首都は、東京砂漠といわれるほどのパニック状態になった。この水不足を解消するために、水量の豊かな利根川の水を首都けんに送ることが国の方針として決定された。利根川から東京へ送るための水路が作られ、きん急通水を開始して首都けんを、水不足から救いました。

水は私たちの生活に欠すことのできない大切な資源です。水を大切につかうことは、大事なことなので、私も水を大切に使用したいと思いました。